

③ 花嫁人形

新発田市
【作詞者出生地】

♪作詞：落谷 虹児（ふきやこうじ） ♪作曲：杉山 長谷夫（すぎやまはせお）

歌碑所在地 新潟市西堀通り・イタリア軒横

作詞者の落谷虹児は新発田市に生まれ、画家、イラストレーター、詩人、グラフィック・デザイナーなど、一人何役もこなす多才なアーティストでした。この「花嫁人形」は虹児が渡仏する前に少女雑誌へ発表した作品です。杉山長谷夫が曲を付けて大ヒットしたことを、虹児は帰国後に知ったといいます。虹児が幼少時に亡くなった母とともに暮らした場所に近い新潟市西堀通りに、「花嫁人形の詩碑」が建てられています。



1. きんらんどんすの 帯しめながら
花嫁御寮は なぜ泣くのだらう
2. 文金島田に 髪結ひながら
花嫁御寮は なぜ泣くのだらう
3. あねさんごっこの 花嫁人形は
赤い鹿の子の 振袖きてる
4. 泣けば鹿の子の たもとがされる
涙で鹿の子の 赤い紅にじむ
5. 泣くに泣かれぬ 花嫁人形は
赤い鹿の子の 千代がみ衣裳

落谷虹児『花嫁』



④ ひつじぐさ

旧新津市(新潟市)
【作曲家出身地】

♪訳詞：吉田 千秋（よしだちあき） ♪作曲：吉田 千秋（よしだちあき）

『琵琶湖周航の歌』の原曲となったこの作品を作曲したのは、旧新津市（現：新潟市）出身の吉田千秋でした。千秋は『大日本地名辞書』の著者として知られる吉田東伍の次男として生まれました。イギリス童謡を翻訳し自作の曲をつけた『ひつじぐさ』を、大正4年（1915年）に音楽雑誌に発表しました。千秋は肺結核を患っており、『ひつじぐさ』のメロディーが『琵琶湖周航の歌』となったことを知らずに、24歳でこの世を去りました。

1. おぼろつきよの 月あかり
かすかに池の おもにおち
波間にうかぶ かずしらぬ
ひつじぐさをぞ てらすなる
2. 雪かともがふ はなびらは
こがねの薬を とりまきつ
なみのまにまに ゆるげども
はなの心は なみだたず
3. かぜふかばふけ そらくもれ
あめふれなみたて さりながら
あだなみのした そこふかく
萌えいでたりぬ ひつじぐさ



⑦ 砂浜で

新潟市
【新潟市民歌】

♪作詞：富田 良子（とみたよしこ）【補作：宮城二（みやじゅうじ）】
♪作曲：田沢 弘子（たざわひろこ）【補作：芥川 也寸志（あきたかややすし）】



歌碑所在地 新潟市
音楽文化会館前

「砂浜で」は新潟市の市民歌として、昭和44年11月1日に制定されました。歌詞の補作をした宮城二は旧堀之内町（現：魚沼市）出身の歌人です。平成17年3月29日には、新潟市音楽文化会館の正面玄関前に「砂浜で」の歌碑が建立されました。

1. 砂浜で
小さな小さな ぐみの木が
赤い赤い実をつけて
海に向かってささやいた
ふるさと新潟よいところ
ふるさと新潟よいところ
海の音 とどろ
海の音 とどろ
2. 砂浜で
小さな小さなすずめさん
黒い黒い目をあげて
空に向かって鳴いていた
ふるさと新潟よいところ
白い雲 はしる
大空を はしる
3. 砂浜で
小さな小さな友だちが
そっとそっと寄りそって
星に向かって語ってた
ふるさと新潟よいところ
船の灯 はしる
沖の星 とどろ

⑧ ルンルンルンルン いちねんせい

新潟市
【市制施行100周年記念チューリップ愛唱歌】

♪作詞 みやう ♪作曲 みやう

新潟市は平成元年（1989年）の市制施行100周年を記念し、「市の花」にチューリップを制定しました。そこで、市の花チューリップにもっと親しんでもらうことを目的に、チューリップを題材にした新潟市の愛唱歌を全国から広く募集し、平成10年（1998年）に「チューリップ愛唱歌」ができました。

1. ルンルンルンルン 朝日がのほろよ 鳥達ピッピーピッピー
ルンルンルンルン 明るくなったら おはよう チューリップ
身体をばして 首をまわせば 朝露キラリ 落ちる ぶるーん
ルンルンルンルン赤白黄色に 紫ストライプ
ルンルンルンルンどんな色でも 今日的一年生
2. ルンルンルンルン 大地の力を貰って ゲングンググン
ルンルンルンルン 光りに向かってのびるよ チューリップ
頬をふくらせ 花びら少し かめげば笑顔が ばあー
ルンルンルンルン赤白黄色に 紫ストライプ
ルンルンルンルンどんな色でも どこでも一年生

※以下3番まで続く



⑨ 砂山

新潟市(寄居浜海岸)
【作詞地】

♪作詞：北原 白秋（きたはらはくしゅう）
♪作曲：中山 晋平（なかやましんぺい）／山田耕柝（やまだこうさく） 他



歌碑所在地 新潟縣護国神社境内
(西海岸公園)

大正11年（1922年）、北原白秋は新潟市で市内の小学校音楽グループの招きにより、新潟師範学校の講堂で童謡音楽会を開きました。その際に寄居浜で見た光景から、この作品の歌詞が生まれました。この作品にはのどかな民謡調の中山晋平作曲のものと、哀愁漂う歌曲風の山田耕柝作曲のものがあります。寄居浜には現在、西海岸公園が整備され、護国神社境内の松林の中に「砂山の詩碑」が建っています。

1. 海は荒海 向こうは佐渡よ
すずめ啼け啼け もう日はくれた
みんな呼べ呼べ お星さま出たぞ
2. 暮れりゃ 砂山 汐鳴りばかり
すずめちりちり また風荒れる
みんなちりちり もう誰も見えぬ
3. 帰ろ帰ろよ ぐみ原わけて
すずめさよなら さよならあした
海よさよなら さよならあした

